

### 苫前町郷土資料館の概要

所在地 / 〒078-3701  
北海道苫前郡苫前町字苫前393番地

構造及面積 / 木造モルタル平家建  
延面積 600.38㎡  
内容 / 展示室(常設、分類、特別)417.35㎡  
応接室……………29.81㎡  
体験学習室……………29.81㎡  
事務室……………16.56㎡  
収蔵庫……………23.19㎡  
他

### 苫前町考古資料館の概要

構造及面積 / 木造平家建  
延面積 361.26㎡  
内容 / 常設展示室……………80.39㎡  
特別展示室……………59.18㎡  
体験学習室……………55.08㎡  
収蔵庫……………72.90㎡  
ホール・他……………93.71㎡

### 復元住居の概要

復元住居及面積 / 縄文文化の家……………37.47㎡  
(紀元前3000年)

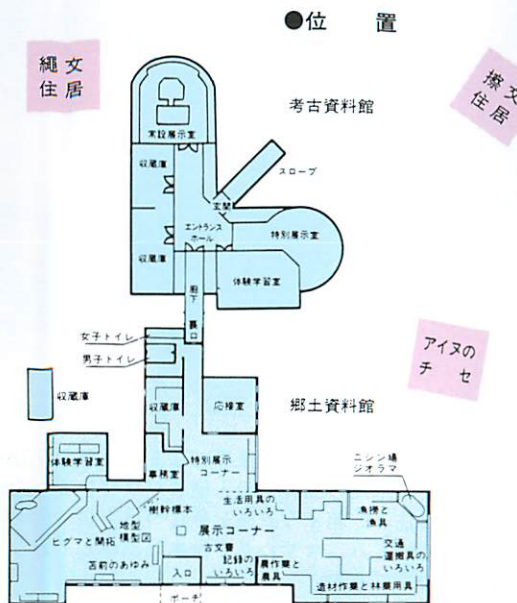
平面形が楕円形で中央に石組炉があり、出入り口が外へ張り出している。この時代の竪穴住居は、多種多様で、屋根の形、柱の数や位置、炉の有無といった点で違いが見られる。

擦文文化の家……………49.58㎡  
(紀元10世紀)

平面形が正方形であること、中央に炉、壁にカマドがあること、主柱が4本であることが特色。特に調理用のカマドは北海道ではこの時代にしか見られない。

#### アイヌのチセ

平面形が長方形であること、材料にはすべて木や草を用い釘は一切使わないことなどが特色。チセは1週間足らずで完成しますが3世代はもつと言われる。



- 開館期間 毎年5月1日～10月31日までです。
- 開館時間 午前10時～午後5時までです。  
(ただし、入館は午後4時30分までです。)
- 休館日 毎週 月曜日

#### ●観覧料

区分	小中学生	高校一般	
個人	町内	50円	100円
	町外	100円	310円
団体(10人以上)	1人につき個人料金の3割引 (10円未満切り捨て)		

\*小学校就学前の幼児は無料です。

#### ●お問い合わせ、お申込みは

苫前町古代の里 (0164)64-2954

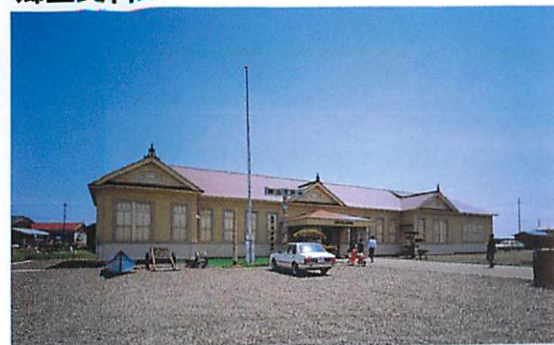
又は、苫前町教育委員会 (0164)64-2442  
(0164)65-4076

郷土資料館・考古資料館・復元住居

# 古代の里

見る・聞く・語る・作るの体験を通して、郷土を拓いた先人の苦節を学び古代のロマンに思い馳せ、現代に生きる人間の真のあり方を探ることができるところが、この「古代の里」です。

### 郷土資料館



### 考古資料館



### 復元住居



苫前町

## とままえの自然

～美しい海——緑の自然に恵まれたふるさと～



苫前町は、日本海と雄大な山野に抱かれた風光明媚なまちです。  
この豊かな大自然に囲まれた本町の躍動の姿を地形模型や写真で展示しています。

## とままえの農・林・漁業

海から拓けたとままえ、その後農業、林業と共にまちの主産業として大きなウェイトを占めました。  
採る漁業から育てる漁業へ農林業も大型機械が導入される等、大きな変遷を経て、今日に至っております。ここでは、農・林・漁業及び生活用具を展示し当時を偲ぶことができます。



▲「溪谷の次郎」 ▲巨熊「北海太郎」

### 農具と農業の変遷



### 林業用具



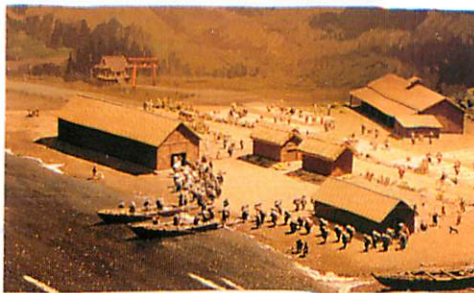
### 漁具・漁法の変遷



## とままえの海

～豊かな漁場を求めて～

明治22、3年頃からニシン漁業が著しく発達し、明治30年頃を最盛期として次第に減少していきました。豊漁の年には、現在の苫前町の区域だけで3万石（約22,500トン）以上に達し、大部分はニシン粕（肥料）に加工され本州に送られていました。ここでは当時のニシン漁場をジオラマで紹介しております。



ニシン漁場(ジオラマ)と船(保津船)



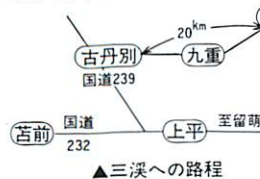
## 三毛別(三溪)のヒグマ事件

～大正4年12月三毛別(三溪)事件発生～



本町は、明治20年代の後半になると原野の開拓が始まりました。未開の原野への入植者がつづきましたが、堀立小屋に住み、粗末な衣服を身につけ空腹に耐えながら原始林にいどみ、マサカリで伐木し、ひとくわひとくわ開墾したのでした。

こんな時、町内三毛別(三溪)で(大正4年12月9・10日の両日)冬ごもり前の一頭のヒグマが空腹から狂暴性を発揮し、10人の婦女子を殺傷(7人が殺され、3人が重傷)した事件が発生したのです。当時の様相を一部復元し、またヒグマと人間との関わりについても写真、図表を使って紹介してあります。



▲三溪への路程



▲巨熊を射止めた山本長吉老

### ヒグマとの共存

#### ヒグマの生態

ヒグマは冬ごもり中の1月から2月に子供を産む。普通1頭から2頭で、生まれたばかりの子供は体長20センチ、体重500グラムととても小さい。4月下旬に穴から出て、母グマといっしょに生活する。又、成長すると、体長が約2メートルにも達する。日本最大の陸上動物である。食肉類でありながら、木の実や野草、アリ、ザリガニなどを食べている。

## 考古資料館

～目で見先人の築いた歴史～

本町は、昭和61年度～62年度に擦文時代の「香川三線遺跡」「香川6遺跡」の発掘調査を行い、概ね20,000点にのぼる貴重な資料が出土している。

これ等の資料とともに、旧石器文化期・縄文文化期・続縄文文化期・擦文文化期(オホーツク文化期)・アイヌ文化期までを実物資料や解説パネルで分かりやすく展示しています。

### ▼常設展示室



### ▶特別展示室



### ◀体験学習室

～昔の人びとの生活を復元～

来館者が直接手を触れ、あるいは道具を復元して昔の人びとの生活を追体験できるように、体験学習室を設けました。

